

地方公共団体名	島根県津和野町
所属部局 担当者名	つわの暮らし推進課 副主任主事 豊田 悠策
地域の抱える 課題	<p><b>【環境・脱炭素に関する課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力地域内循環の仕組み構築</li> <li>・ 省エネ対策促進と再エネ導入にかかる住民への普及啓発、合意形成</li> <li>・ 発電用の木材搬出のスキーム</li> <li>・ 再エネ導入目標に対する実現性危惧</li> <li>・ 太陽光発電の導入と景観との調和</li> <li>・ 木質バイオマスエネルギー活用、中小水力発電、太陽光発電以外の再エネ電源等開発</li> </ul> <p><b>【同時解決したい地域の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エネルギー収支赤字の抑制</li> <li>・ 地域経済の活性化（雇用創出・人口減少抑制・観光宿泊人口増加等）</li> </ul>
地域のありたい 未来	津和野町森里川海連環ゼロカーボン事業による、地域内経済循環のまち
事業の概要	<p>令和 4 年 3 月に『津和野町ゼロカーボンシティ宣言』を表明し、令和 4 年度に地域再エネ導入戦略を策定。木質バイオマス発電と太陽光発電を主軸におき、中小水力発電の組合せにより、2050 年脱炭素を目指している。</p> <p>町内では、バイオマスガス化発電所も稼働し、今後再エネの導入を推進していく中で、地域内経済循環の仕組みを構築していきたいと考えている。</p>

令和5年度においては、町内の再エネ導入ゾーンニングと公共施設等への太陽光発電等導入調査を実施したうえで、脱炭素選考地域への応募を視野に入れて施策を推進する。

- ・公共施設等への太陽光発電導入
- ・地域内経済循環を担う、新電力会社等の事業体設立の検討



令和4年8月より稼働開始したバイオマスガス化発電所と津和野町原木・チップヤード施設

企業に求めたい  
内容

令和5年度において、第2バイオマスガス化発電所や公共施設等への導入可能性調査を実施し、再エネ導入を行っていく中で、地域の電力を地域内で消費する仕組みづくりと一緒に検討いただきたい。

併せて、住民が積極的に再エネ導入等に取り組む仕組みづくりを検討したい。